

「京の旅」は
楽しく、エコに!!

2R行動ガイド

しまつのこころ得

旅
たび
の巻



「京の旅」は楽しく、エコに!!

皆々がた、

京都市へお越しいただき、

感謝の極めてござる。

ゆっくりと名所や名産品を

お楽しみください。

ただ、楽しい旅行中は

ついつい環境への配慮を忘れがちになろう?

うしわかくんと各地を旅した拙者が、

9つの旅の技を紹介させていただこう。



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ!

監修: 京都市廃棄物減量等推進審議会

循環型社会・ごみ半減をめざす条例・プラン推進部会

発行: 京都市環境政策局循環型社会推進部ごみ減量推進課
平成29年3月 京都市印刷物283247号



旅の巻

5,700万人

京都市を訪問する年間観光客数は約5,700万人(平成27年)おられ、
ごみ減量に取り組んでいただければ、大きな効果があります。

ごみを減らす“しまつのこころ得” シーン別の技を紹介



417 グラム

市民1人1日あたりの
ごみ量は他の政令市
平均の4分の3で、政
令市中最少です(平成
27年度)。

約50 年

唯一の最終処分場である「東
部山間埋立処分地(エコラン
ド音羽の杜)」使用期間は、ご
み半減を達成してもあと約
50年で、子どもや孫の世代に
少しでも長く引き継ぐために、
皆様のより一層の御協力が
必要です。

1/2

京都市のごみ減量の目標は、
ごみ量をピーク時の年間82万
トンから平成32年度までに
39万トンへ半減することで、
環境負荷の低減とごみ処理経
費の削減を進めています。

ごみは最初からごみだったわけではなく、もとは動植物のいのちや地球の貴重な資源です。そのため、私たちは、多様ないのちとともに、限りある資源を分かち合ながら生きていることを自覚し、大切なのちを無駄にせず、資源やエネルギーの消費を減らさねばなりません。

京都市には、豊かな自然と長い年月、多くの人の手により育まってきた伝行事、伝統文化・工芸、食文化などがあり、また、自然と共生しながら生活してきた知恵や工夫、心構えとして、門掃きや打ち水、「しまつのこころ」などがあります。

「しまつのこころ」とは、いのちや資源、それを活かす作り手の皆さんへの感謝のこころから生まれてくる考え方であり、「無駄遣いしない」、「儉約・節約する」という意味で用いられ、生産から廃棄のことまで考え、「良いものを長く使う」ようにする、電気や水の使用を節約するなど、2R*にもつながる考え方です。これは、季節の食材を余すことなく使い切る京都市の食文化などにも息づいています。

この冊子を御覧いただき、できることから少しづつ環境にやさしい取組を進めていきましょう！

* リサイクルだけに頼らず、ごみになるものを作らない・買わない「リデュース(発生抑制)」、再使用する「リユース(再使用)」を重点的に進める考え方

出発前

あんな技 こんな技

歯ブラシは
旅館にあるし、
エコバッグは
必要かな？



旅先でごみが出ないよう
に準備しよう！



あんな技 こんな技
宿泊先や
観光地では



缶・びん・ペットボトル等の
資源物は、
別にまとめて置いておくと、
別にまとめて置いておくと、
後で分別しづくなるよ！

技 4 観光地では

マナーを守つて

もちろん、ごみのポイ捨ては厳禁です！

技 3 缶・びん・ペットボトルは

別だよね

宿泊先でも観光地でも、分別しましょ

（歯みがきセット等）の持参で特典あるかも？

歯みがきセットなどのアメニティイグッズを持参することで、特典のある宿泊施設があります。予約時に確認してみましょう！

技 2 コース料理は

食べ切れるかな？

予約時にコース料理を注文する場合、もつたいない食べ残しが出ないよう量や食材を確認しておきましょう。

あんな技 こんな技

技 5 注文時に量や食材を確認

小盛メニューはないかななど、量の調整ができないかを店員さんに確認しましょう。



鏡光地の
名産品だと、
ついつい、
注文しそうるわね。



量や食材を
確認してから
注文しましょう！



お買い物

あんな技 こんな技

お買い物

エコバッグ
あれば
しじめが
いらぬかな。

技 8 そのごみもお土産…？

自宅や親しい方へのお土産なら包装も簡易なものを見つめましょう。帰宅後のごみが減るよ。

技 9 おしゃれなふろしきに 包んでみて

ふろしきはお土産にもなるし、レジ袋等も減つて一石二鳥だね。



贈答用の
お土産でなければ、
簡単な包装で
いいよね。



京都エコ修学旅行の取組

京都市では毎年約一一〇万人もの修学旅行生に来ていただいています。そこで、宿泊施設の使い捨て歯ブラシを使わないこと、レジ袋等をもらわざできるだけ簡単に包装された商品を購入すること、できる限り食べ残しを出さないことを宣言した学校にエコバッグを提供し、環境にやさしい観光、修学旅行を実践してもらうことで、京都市が促進している2Rを全国に発信しています。